

燃焼排ガス分析計

testo 350S

—— シンプルタイプ ——

必要な機能だけを残して、コストダウン。
testo 350Sは、用途に合わせて必要なセンサや機能だけを追加できる、シンプルタイプの燃焼排ガス分析計です。



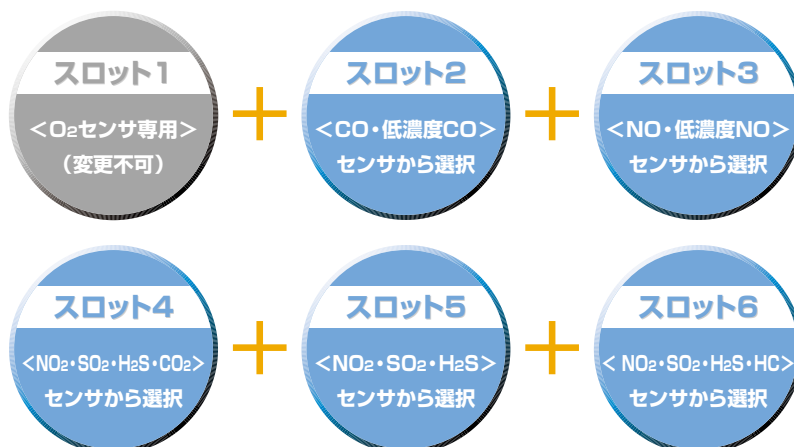
選べるセンサセル — 最大6項目まで同時計測可能 —

testo 350Sは、O₂センサのみ標準で搭載。
以下の中から、最大5つまでセンサを選び、追加することが可能です。

■CO ■低濃度CO ■NO₂ ■SO₂ ■H₂S
■NO ■低濃度NO ■HC ■CO₂ (NDIR)

基本セット	
testo 350S コントロールユニット	0563 0369
testo 350S 排ガス計測ボックス (O ₂ センサのみ搭載)	0563 0368
排ガスピローブ (500℃/335mm)	0600 7451
データバスケーブル (2m)	0449 0042
AC電源ケーブル	AAAA MICK

スロット2~6の中から、最低1つセンサを選び、搭載



testo 350S コントロールユニット

— testo 350S コントロールユニットは、1台のtesto 350 排ガス計測ボックスのみ接続可能です。—



《共通の特徴》

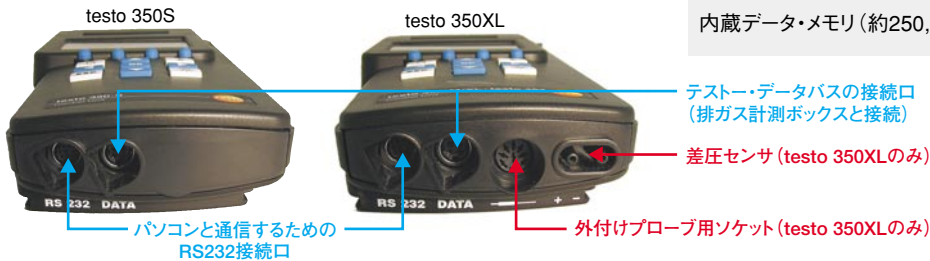
- プリンタ内蔵
- PCに接続してデータ管理可能
- 乾電池で約8時間駆動

動作温度：-5~+45℃
 バッテリの種類：単3電池4本
 バッテリ寿命：約8時間
 重量：850g
 外形寸法：252×115×58mm

《機能比較表》

	350S	350XL
組み込みサーマル・プリンタ	◎	◎
差圧計測機能 (-40~+40hPa/-200~+200hPa)	—	◎
外付けプローブ用ソケット (1つ) (温度、湿度、風速、圧力計測プローブの接続用)	—	◎
タッチ・スクリーン	—	△
データバス接続 testo 350 排ガス計測ボックス	◎ (1台のみ)	◎ (複数台)
データバス接続 testo 454 環境計測ボックス	—	◎
データバス接続 アナログ出力ボックス	—	◎
NiMH充電電池パック	—	△
内蔵データ・メモリ (約250,000計測データ分)	—	◎

◎=標準 △=オプション —=不可



testo 350S 排ガス計測ボックス



《共通の特徴》

- 差圧計測機能付
- 温度センサ接続可能
- メモリ：250,000データ分
- COスイッチオフ (センサ保護) 機能付

動作温度：-5~+45℃
 バッテリの種類：内蔵充電電池またはAC電源
 重量：3200g
 外形寸法：395×275×95mm

《機能比較表》

	350S	350XL
計測セルの最大搭載数	6	6
O ₂ 0~25Vol.% (分解能 0.01Vol.%)	◎	◎
CO (H ₂ 補償) 0~10,000ppm (分解能 1ppm)	△	◎
CO _{low} (H ₂ 補償) 0~500ppm (分解能 0.1ppm)	△	△
NO 0~3,000ppm (分解能 1ppm)	△	◎
NO _{low} 0~300ppm (分解能 0.1ppm)	△	△
NO ₂ 0~500ppm (分解能 0.1ppm)	△	◎
SO ₂ 0~5,000ppm (分解能 1ppm)	△	△
HC 0~4Vol.% (分解能 10ppm)	△	△
H ₂ S 0~300ppm (分解能 0.1ppm)	△	△
CO ₂ (IR) 0~50Vol.% (分解能 0.01Vol.% / 0.1Vol.%)	△	△
組込み型ガス前処理ユニット (排ガス中の水分が多い場合、1回の計測が2時間以上になる場合などに推奨)	△	◎
フレッシュエア・バルブ (自動リンスおよび全計測セルに対する希釈倍率5倍の計測範囲拡張機能)	△	◎

◎=標準 △=オプション

*本カタログの内容は、予告なく変更される場合があります。